

11月11日、千葉ポートパーク円形広場において「第29回千葉県協同組合フェスティバル～海と大地とくらしの祭典～」が開催されました。

11月11日（日曜日）、千葉ポートパーク円形広場において「第29回千葉県協同組合フェスティバル～海と大地とくらしの祭典～」が開催されました。

このフェスティバルは、千葉県内の協同組合の交流を図り、また県民に「協同組合」をアピールすることを目的に88年に初めて開催され、今年で第29回を迎えました。JA・漁協・森林組合・生協の4協同組合の主催団体および千葉県農林水産部、全労済千葉推進本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会、千葉県ユニセフ協会が出展参加しました。当日は、爽やかな秋晴れのもと、開会前より多くの参加者で賑わい、約1万人の方が来場されました。

農協コーナーでは、県産青果物（サツマイモ、レモン）の販売、焼き芋や県内落花生の販売の他、農産加工品の販売など多彩な企画がおこなわれ千葉の農産物をアピールしました。

森林組合のコーナーでは、生椎茸・林産物・炭製品などの販売がおこなわれ、恒例の焼き椎茸の試食も好評でした。

漁協コーナーでは、海苔、水産加工品やあさりの味噌汁、サザエのつぼ焼き、さんま丸干し焼き、アジさんが焼きなど好評でした。

生協コーナーでは、パルシステム千葉、コープみらい、生活クラブ生協、なのはな生協、全労済千葉推進本部、中央労働金庫千葉県本部、千葉県労働者福祉協議会が実行委員会を組織して準備をすすめて様々な企画をおこない、どのコーナーも大好評でした。

千葉県ユニセフ協会コーナーでは、SDGsについて学ぶ「SDGsパターゴルフゲーム」、ユニセフ資料配布などがおこなわれました。

千葉県農林水産部コーナーでは、新品種落花生の紹介や県産落花生の試食、県産農産物のPRなどがおこなわれました。

会場正面のステージでは、「いすみ鉄道公認房総半島応援アイドル BOSO 娘ミニライブ」「快盗戦隊ルパンレンジャーVS警察戦隊パトレンジャー」キャラクターショーが子供たちの人気を集め、第1回から連続出演の「磯浜太鼓」の他、「手話ダンス みさき」、「ママン・シーウインド ピョコ隊」、「YOSAKOI 連 桜舞」、「花鳥風月」がフェスティバルの雰囲気盛り上げました。



開会式 千葉県協同組合提携推進協議会の小茂田代表よりあいさつ。



「花鳥風月」の踊り



「磯浜太鼓」の演奏



「YOSAKOI 連 桜舞」のパフォーマンス



千葉県ユニセフ協会



パルシステム千葉



なのはな生協



コープみらい



生活クラブ生協



千葉県労働者福祉協議会、全労済千葉推進本部、
中央労働金庫千葉県本部